

ソバナ

(2004年7月27日 撮影)

がつけゅうじゅん さ はな おがわぞ さ
7月中旬ごろに咲く花で、小川沿いで咲いてい
るのを見かけることがあります、泉ヶ岳では数は
おお
多くありません。

しゃしん さつえい ばしょ さ
この写真を撮影した場所に咲いていたソバナも、
よくとし な
翌年にはもう無くなっていました。

やま なが かわ みず つめ かわ なつ
山を流れる川の水は冷たく、川のすぐそばは夏で
すす いずみがたけ ほか ばしょ くら
も涼しいために、泉ヶ岳の他の場所に比べて、まだ
じき はや はな ぎやく じき おそ はな ほんらい たか
時季が早い花や逆に時季が遅い花、本来はもっと高
くすす やま み はな
くて涼しい山でしか見ることができないような花を
かわ ちか たの
川の近くでは楽しむことができます。

なまえ ゆらい きゅうしゃめん
名前の由来は、急斜面な
ばしょ いみ そば
場所という意味の「岨」で
さ はな せつ
よく咲く花だから、という説
た もの にお
や、食べ物のソバのような匂
いがするから、など、いろい
ろな説があるようです。

花のアップ

